

対話型遺伝的アルゴリズム
吉田 昌太

1 前回の課題

前回の課題を以下に示す .

- 配色に関するジャーナル論文を読み , ジャーナル論文の構成を勉強する .
- 昨年度の研究において集まった論文を調べて , リストアップする . また , その論文も読み , それぞれについて報告を行う .
- 時間があれば , 服の配色支援システムの並列分散モデルへの移行を進める .

2 研究の進捗状況

2.1 ジャーナル論文の文献調査

研究としては , 人工知能学会へのジャーナル論文の投稿に向けて , ジャーナル論文を読みその内容について報告を行っていた . 主に , 人工知能学会誌のジャーナル論文を読み , それ以外には , 日本ファジイ学会誌や電子情報通信学会のジャーナル論文を読んだ . 報告した論文は , IGA に関する論文や感性工学に関する論文 , またその他発想支援に関する論文などである . 報告した論文のリストを人工知能学会誌以外のものを Table 1 に , 人工知能学会誌のものを Table 2 に示す .

Table 1 報告した人工知能学会誌以外の論文リスト

題目	著者名
感性工学の基礎と現状	長沢 伸也
パネルディスカッション感性工学	長沢 伸也
感性情報処理と主観情報処理	吉川 歩
感性情報処理と遺伝的プログラミング	中西 泰人
CSCW とグループウェア	石井 裕
インタラクティブ進化計算	高木 英行
インタラクティブ進化計算研究への取り組み	高木 英行
対話型 GA による 3 次元 CG ライティングデザイン支援	高木 英行
対話型並列遺伝的アルゴリズムとその収束特性	青木 研

2.2 ジャーナル論文の執筆

ジャーナル論文の文献調査がある程度進んだため , それらの論文から得られたことを踏まえて , ジャーナル

Table 2 報告した人工知能学会誌の論文リスト

題目	著者名
遺伝的アルゴリズムとコンピュータグラフィックスアート	畝見 達夫
論文特集対話型進化計算法にあたって	畝見 達夫
対話型進化計算法の研究動向	高木 英行
選好関数を用いた対話型進化システムの制御と評価	中西 泰人
対話型 EC 操作者の負担低減-評価値予測による提示インタフェースの改善-	大崎 美穂
待ち行列型遺伝的アルゴリズムを用いた対話的な画像散策法	北本 朝展
IGA のための心理的尺度に基づいたファジィ推論による適合度割り当て法	杉本 富利
インタラクティブ GA に基づく画像検索システムの評価	長尾 光悦

論文の執筆を始めることになった . 具体的には , 人工知能学会のスタイルファイルを使って , 実際のジャーナル論文の形式で書いていくことになった . 現在のところ , ジャーナル論文の執筆に関して行ったことを以下に示す .

- スタイルファイルの入手や投稿に関する案内の確認
- 執筆に関しての案内や注意事項 (原稿執筆案内やスタイルファイルの使いかたなど) の確認
- スタイルファイルを使い「はじめに」までを執筆

3 今後の課題

現在のところ , ジャーナル論文の執筆は「はじめに」を下書きした状態である . 今後は「はじめに」の部分で最低 10 以上のジャーナル論文を引用した形で書けるように修正していくことが第一であり , それ以降は章立てにしたがって書けるところを書いていくという形になる . 今後の課題を以下に示す .

- 論文を引用して「はじめに」を書き直す
- 論文の章立てを考える
- 書ける部分はどんどん書いていく